

牛伏の流れ

松本市立明善中学校
文責:佐々木 清一郎

みんなで考える時間

3 学期 みんながハッピーな区切りにするために

3 学期が始まり、1 ヶ月が経ちました。1 学年では 1 学年生徒会や新入生説明会の準備を行い、「先輩と呼ばれるための準備」を進めてきました。2 学年では、新役員による 2 年生中心の生徒会活動が始まり、2 月に実施する修学旅行に向けた準備を着々と行き、「学校の顔となるための準備」が進んでいます。3 学年は、友達や先生と一緒に勉強したり、面接練習をしたりして、それぞれの進路実現に向けた取り組みを行い、「自分で決めた道を自分の足で歩み出すための準備」を進めています。

2 月 5 日(木)に実施した今年度最後の「みんなで考える時間」では、学校長がそれぞれの学年が進めているこれらの「新しいステージへの準備」を紹介し、「3 学期をみんながハッピーな区切りにするために大事にしたいこと」をみんなで考えて、お話ししました。それぞれのクラスで、友達と大事にしたいことを語り合った後に、学校長は次のことを生徒に伝えました。

私は二つのことを大事にしたいと考えています。

一つ目は、「すべての人・ものにありがとう」です。今年一年間、中学三年間ありがとう、おかげさまでという気持ちを大事にしたいです。

二つ目は、「ありのままのわたし、ありのままのあなたが・・・」という気持ちを大事にしたいと思います。今年一年間、中学三年間がんばった自分や友達を大事に、愛おしく思う、そんな区切りにしたいと考えます。

生徒たちは学校長が話した「すべての人・ものにありがとう」と「ありのままのわたし、ありのままのあなたが」「今年度みんなで考える時間」について、自分と向き合いながら考えを深めていました。



1 年生 学年生徒会の様子



2 年生 新役員が進める委員会の様子



3 年生 進路実現に向けてみんなで勉強

- いつも一緒にいる友達、家族、お世話になった 3 年生や先生方、部活の仲間にあリがとうを伝えたい。
- 「特に」あリがとうと伝えたいのは、家族、友達、クラスの仲間、部活の友達、先輩方、サポートして下さった先生方、家や家にあるもの、学校や学校にあるもの、体育館、バスケットに関するもの、他にもたくさん思いつきそうです。
- 辛いことにも一生懸命、最後まで投げ出さずがんばる自分、そして、何気ない会話で盛り上がり笑い合える大切な友達を大事にしたい。
- 一緒にいても疲れない友達、お互いを思いやれる関係を大事にしたい。
- 「みんなで考える時間」は、普段話さない人と意見や自分の考えを伝え合うことができたからすごくいい時間だと思いました。
- 楽しいイベントがあり、学校よくしようと思ったりすることができました。自分の学校生活を振り返ったり、思い出したりすることができたのでよかったです。
- 残り少ない中学校生活を大事にしていこうと思った。ありのままの自分を大事にして、周りの人に感謝の気持ちを伝えたい。
- いい気持ちで卒業できるように毎日メリハリをつけて行動し、目標に向けて努力したい。

〔生徒の「みんなで考える時間」のリフレクションシートより〕

「すべての人・ものにありがとう」という感謝の気持ちと「ありのままのわたし、ありのままのあなた」を大切にす
る気持ちで、みんながハッピーな 3 学期、そして、すばらしい卒業式をつくっていきましょう。

令和7年度 学校評価について アンケートへのご協力ありがとうございました

1 本年度のめざす生徒像「自ら」「もとも」「つなぐ」生徒 について

(1) 自ら行動する生徒（自分の頭で考え、自ら判断して行動する生徒）の実現に向けて

【生徒】



【保護者】

(2) 解決をもとめる生徒（自己調整しながら問題を解決する生徒）の実現に向けて

【生徒】



【保護者】

(3) 自分と周りをつなぐ生徒（自分を表現し、温かい人間関係をつくっていく生徒）の実現に向けて

【生徒】



【保護者】

左から

あてはまる

おおむねあてはまる

あまりあてはまらない

まったくあてはまらない

【めざす生徒像:考察】

「自ら」「もとも」「つなぐ」生徒像は、どの項目に関しても概ね高い評価が得られました。特に「自ら」の「学年行事等での達成感、成就感」や、「つなぐ」の「互いに支え合い、認め合う人間関係づくり」「仲間と話し合い、協働して追究し問題を解決したり発表したりすること」に関しては、半数以上の生徒が「かなりできた」と評価していました。これは、学年・学級づくりを基盤としながら、学年行事や文化祭、生徒会等の一つひとつの活動を大切に、価値づけてきた成果と考えています。

一方で、「もとも」の「家庭学習」や「つなぐ」の「伝え方を意識した発表、発信」については、肯定的な評価が若干低い結果となりました。これらの項目に関しては昨年度も低い傾向であったため、本校の課題と言えます。生徒一人ひとりが自立した学習者となっていくよう、個に応じた具体的な働きかけを行うとともに、対話を通じた協働的な学びの促進に力を入れてまいります。

2 生活全般について

(1) 学校へ行くのが楽しい

【生徒】



【保護者】

(2) 自ら解決や学習方法をもとめる学習に取り組み、授業の内容を理解している

【生徒】



【保護者】

【生活全般:考察】

(1)「学校へ行くのが楽しい」については、約8割の生徒、保護者の皆様から肯定的な評価を得ています。しかし、「とてもそう思う」と答えた生徒が増えた一方で、「全くそう思わない」生徒も増え、二極化していることが伺えます。全職員で生徒一人ひとりを見守り、信頼関係を築いていくとともに、保護者の皆様とも連携しながら、すべての生徒が楽しいと思える学校・学年・学級づくりに努めてまいります。

(2)の学習に関しては、日々の授業改善に努め、生徒が主役となる授業、学ぶ楽しさや喜びが実感できる授業を目指します。

明善中学校では教職員の非違行為防止に努めています

長野県では、県教育委員会をはじめ各学校で非違行為根絶のため、計画的に研修に取り組み、意識を継続させています。明善中学校でも、非違行為防止研修実施計画書を作成し、体罰やわいせつな行為の厳禁、交通法遵守等について、セルフチェックや資料をもとにした研修に取り組み、学校全体で非違行為根絶に取り組んでいます。私たちはこれからも研修を継続し、非違行為は絶対にあってはならないと強い決意をもって教育活動にあたります。お気づきの点がございましたら、校長・教頭の他、職員誰でも結構ですので遠慮なくご連絡ください。

長野県の体罰等に関する相談窓口

◆学校生活相談センター 24時間子どもSOSダイヤル

☎ 0120-0-78310

✉ gakko-sodan@pref.nagano.lg.jp

◆長野県子ども支援センター 子ども専用ダイヤル (無料)

☎ 0800-800-8035

✉ kodomo-shien@pref.nagano.lg.jp

◆義務教育課

☎ 026-235-7426

☎ 026-235-7494

✉ taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp